

# かや 榎りぼーと

## 第42号

### さいたまの「史の跡」

全国的に有名な史跡には「登呂遺跡」や「高松塚古墳」などがありますが、さいたま市内にも多くの史跡があり、時代的には縄文時代から、古墳時代、江戸時代へと続き、その性質も貝塚や古墳だったり、墓や城、さらには信仰や祭祀に関わるものなど、実に多岐にわたります。つまり、史跡とは、その時代時代に、その地域に関わった先人たちの足跡であり、これらを並べていくと、その地域の歴史となるわけです。

では、さいたま市にはどんな史跡があり、そこではどんな歴史が繰り広げられたのでしょうか。

※以下では、史跡の指定名称をゴシック体で記し、国・県と注記してあるもの以外は市指定史跡を示しています。

#### 城 館跡と岩槻藩

曹洞宗寺院の中で高い寺格を誇る普門院。もともと普門院の寺域「大成館跡」(大宮区大成町)は、武蔵七党(武蔵を本拠地とした武士団)の一つ村山党の後裔である金子駿河守の居館跡で、駿河守が応永33年(1426)に関東を巡錫していた高僧月江正文に帰依して、自らの居館を禅庵に改めたものと伝えられます。かつては、周囲に堀が見て取れ、館跡の面影がよく残っていました。

人形の町として知られる岩槻は、言わずと知れたかつての城下町。「岩槻城跡」(岩槻区太田、県)は戦国時代に築かれ、後に豊臣秀吉によって落城させられています。岩槻城は平城で、一方を元荒川によって囲まれた城でした。現在は、その多くが宅地化されましたが、城南端の曲輪群(新曲輪・鍛冶曲輪)・土塁・堀・馬出などが残っています。その土塁の一つである「岩槻城大構」(岩槻区本町)が見られるのが、東武野田線「岩槻駅」近くの愛宕神社境内。豊臣氏の侵攻に備えて築造されたものの一部です。



▲大成館跡(普門院境内)



▲岩槻城跡(堀障子部分)



▲岩槻藩主阿部家の墓(修理前)

徳川家康が関東に入府すると、その立地から、江戸守護の役割を持たされ、城の主は阿部、松平、大岡といった徳川家に近い家が選ばれました。その主の墓が、「大岡家の墓」(岩槻区日の出町、龍門寺)、「岩槻藩主阿部家の墓」(岩槻区加倉、浄国寺)として今に伝わります。いずれも巨大な五輪塔で、藩主としての風格が漂っています。一方、初代藩主高力清長とそれに係わる人物の墓が「高力清長・徳松丸・竹の局の墓及び供養塔」(岩槻区本町、浄安寺)。大岡家や阿部家の墓と比べて、境内にひっそりと祀られています。竹の局は徳川家

康の六男松平忠輝の側室、徳松丸はその間に生まれた子で、忠輝改易のため、高力家にお預けとなった人物です。

「岩槻にすぎたるものが二つある 児玉南柯と時の鐘」という言葉があります。藩の儒学者・児玉南柯と城下に時を知らせる時の鐘の立派なことを指摘したのですが、その児玉南柯が設立した私塾（後に藩校）「岩槻藩遷喬館」（岩槻区本町、県）は県内に現存する唯一の藩校で、創始者の墓が「児玉南柯の墓」（浄安寺）です。一方、藩医篠崎氏が庶民教育のために江戸時代後期に自邸内に開設した私塾戩穀堂の故地には、「郷学戩穀堂の碑」（岩槻区本町）が建てられています。



▲岩槻藩遷喬館 撮影：文化財工学研究所

## 縄文時代の遺跡

時代を遡って、今から約6,000年前頃の縄文時代前期には、地球の温暖化などの影響で海水がもっとも内陸にまで浸入し、台地上と台地の縁辺には、それ以前に増して多くの人々がくらすようになります。そして、人々は魚貝類も食糧とし、その骨や殻を住居跡などに捨てるようになります。こうして形成された貝塚は、市内各地に見られます。「大戸貝塚」（中央区大戸）はこの頃の貝塚で、広い範囲に点在していて、ヤマトシジミやマガキなど16種類の貝が出土しています。縄文時代後期から晩期の遺跡として特筆されるのが「真福寺貝塚」（岩槻区城南、国）。縄文時代を研究する上で非常に貴重な遺跡で、台地上に弧状に広がる集落跡・貝塚と、低地部分の泥炭層遺跡から構成されています。貝殻や土器・石器以外には有名なミミズク形土偶（国重文）も発見されていて、全国的に知られる史跡の一つです。

同じく縄文時代後期から晩期に発展した遺跡として「馬場小室山遺跡」（緑区三室）もあります。自然の窪地の周囲に環状に土手状の高まりが廻る、大規模で拠点的な集落跡で、この遺跡からは、大英博物館にも近年展示された人面画土器（県）などが出土しています。この遺跡もさいたま市のみならず、全国的に注目される重要な縄文時代の遺跡です。

## 古墳群



▲茶臼塚古墳

古墳時代になると、鴨川が流れる市の西部を中心として植水古墳群・側ヶ谷戸古墳群・大久保古墳群という一連の古墳群が出来てきます。墳丘が今でも残っている古墳も多くあり、市の史跡に指定されています。5世紀後半から7世紀初頭にかけて築造された大久保古墳群には、「かね山古墳」（桜区白銀）、「権現塚古墳」（同）、「白銀塚山古墳」（同）、「塚山古墳」（桜区塚本）、「神明寺古墳」（同）などがあります。6世紀から7世紀前半頃には側ヶ谷戸古墳群が築造されるようになり、「稲荷塚古墳」「茶臼塚古墳」「山王山古墳」「台耕地稲荷塚古墳」「上之稲荷古墳」が「側ヶ谷戸古墳群」（大宮区三橋）として指定されています。

今は墳丘は失われていますが、この古墳群内に位置する「側ヶ谷戸11号墳」からは馬形埴輪・男女人物埴輪・円筒埴輪を含む多数の埴輪が出土しています。

## 旗本・文化人の墓

明治維新まで大成村の領主だった小栗氏一族の墓30基が、その菩提寺である普門院に「大成領主小栗忠政一族の墓」として残るほか、山内一豊で有名な土佐山内家と同族である「指扇領主山内一唯一族の墓」が妙玖寺（西区中釘）に、江戸時代を通じて「両番（書院番・御小姓組）」として幕府に仕えた青木氏一族の墓34基（「旗本青木高頼一族の墓及び宝篋印塔」）が正法院（見沼区南中野）にあります。これらはいずれも近世期の旗本の墓です。

一方、中央区には文化人の墓が多く残っています。長伝寺（本町東）の「西沢曠野の墓」は「与野聖人」と呼ばれた儒学者、妙行寺（鈴谷）



▲旗本青木高頼一族の墓及び宝篋印塔

の「鈴木莊丹の墓」は文化・文政期に活躍した俳人です。天文学者で地動説などの西洋の新しい学説にいち早く共鳴した「稲垣田龍の墓」も妙行寺に残ります。

## 街道・交通



▲大門宿本陣表門

南北朝時代、足利尊氏と不和になった弟直義が起こした反乱(観応の擾乱)で、尊氏方の高麗経澄と直義方の難波田九郎三郎が戦った場所が、鎌倉街道が入間川(今の荒川)を渡る「羽柵蔵」で、近世に続く河岸や渡船場の地でもありました(「羽根倉河岸跡 付渡船場跡」、桜区)。

江戸時代、参勤交代の際などに大名が宿泊するのが本陣で、市内には中山道の「大熊家表門(旧浦和宿本陣表門)」(緑区大間木。但し、指定は「建造物」として)と、日光御成道の「大門宿本陣表門」(緑区大門、県)という、いずれも表門のみが残っています。

浦和宿の本陣には水戸斉昭、大門宿の本陣には松山城主松平隠岐守が宿泊した記録が残っています。旅する人の目安となった一里塚には、いずれも日光御成道にある、江戸日本橋から8里目の「膝子の一里塚」(見沼区膝子)、10里目の「一里塚」(岩槻区相野原、県)があります。

市場に人が集まるのは昔も今も同じこと。中山道の浦和の市は毎月二と七の日に開かれ、多くの人が集まりました。慈恵稲荷神社社頭にある「御免毎月二七市場定杭」と刻んだ石杭と市神様を祀る石祠のある場所が「浦和宿二・七市場跡 付市場定杭」(浦和区常盤)。あの「東海道中膝栗毛」で有名な十返舎一九の狂歌に「しろものを積かさねしは商人のおもてうら和の宿のにぎわい」とあり、冬には萩・屠蘇・麴・渋柿・新曆など実に多くのものが商われていました。

江戸時代、盛んになったのは道路交通だけではなく、舟運を使った物資の流通も盛んになり、その遺跡が「羽根倉河岸跡 付渡船場跡」(前出)や「見沼通船堀」(緑区大間木など、国)として今に残ります。このうち、見沼通船堀は御存知、江戸時代の土木技術者井沢弥惣兵衛為永が築造した閘門式運河の代表的なもの。閘門の開閉によって水位を調節して船を上下させ、見沼たんぼの米や野菜を江戸へ、塩などの海産物を見沼地域へと運ぶことに貢献した、市を代表する史跡です。閘門開閉の実演が今年も夏に行われ、多くの来観者でにぎわいました。

## 信仰・祭祀の遺跡

市内にはおびただしい数の「氷川神社」が存在します。その多くは江戸時代の創建(勧請)と考えられますが、大宮氷川神社や氷川女體神社、中山神社、内谷氷川神社は古くからあったものと考えられています。その一つ、内谷氷川神社は室町時代の記録にも登場する古社で、参道の両側に池を持つという、鎌倉・鶴岡八幡宮と同様の形態の境内。鶴岡八幡宮の「源氏池」「平家池」が、この内谷氷川神社にもあることになり、中世の神社の様相を今に伝える貴重なものです(「内谷氷川社境内」、桜区内谷)。

氷川女體神社は見沼を御手洗とし、そこで御船祭という祭祀を行っていましたが、見沼干拓以後その祭祀を継承して斎行した場所が「氷川女體神社磐船祭祀遺跡」(緑区見沼)。磐船祭は明治維新で中断しましたが、柄鏡形の祭祀場が復元されています。

「池上家富士浅間塚及び関連資料」(西区中釘)は浅間信仰に基づいて築かれた円墳状の塚で、中には石室(胎内)を設け、胎内での子どもの様子が10ヶ月にわたってリアルに描かれるという特異なものです。



▲池上家富士浅間塚石室入口  
(現在は入れません)

※紙面の都合上、市内にある全ての指定史跡を掲載したわけではありません。また、一般に公開していないものも含まれています。見学の際にはマナーやルールをお守りください。

# TOPICS

## ●最新出土品展 開催中 見学無料

最新の発掘調査の成果とともに、さいたま市誕生10周年記念事業として、この10年間の発掘調査についても、出土品等で紹介しています。さいたま市立博物館（9月10日(土)～9月25日(日)）での展示を終え、今後は下記の日程で市内を巡回します。（会場によって展示資料が若干変わります）

| 会 場                         | 期 間                        | 時 間          |
|-----------------------------|----------------------------|--------------|
| プラザノース 1階アトリウム (☎653-9255)  | 10月4日(火)～10月10日(月)         | 9時～21時30分    |
| プラザイースト 1階アトリウム (☎875-9933) | 10月12日(水)～10月18日(火)        |              |
| 浦和区役所 1階 (☎825-1111)        | 10月20日(水)～10月26日(火) 土・日閉庁  | 8時30分～17時15分 |
| プラザウエスト 1階アトリウム (☎858-9080) | 10月28日(金)～11月3日(休)         | 9時～21時30分    |
| 岩槻郷土資料館 (☎757-0271)         | 11月10日(休)～11月20日(日) 休館日15日 | 9時～16時30分    |
| 与野文化財資料室 ※                  | 11月23日(水)～12月22日(休)        | 9時～16時       |

※展示の内容については、文化財保護課（☎829-1723）まで。

## ●発掘調査成果発表会

最近調査した発掘調査の成果発表会と、さいたま市誕生10周年記念事業として、各発掘調査担当者によるトークセッションを行いました。

- 開催日：9月17日(土)
- 会 場：さいたま市立大宮図書館視聴覚ホール（地下）

最新出土品展▶



## さいたま市内指定無形民俗文化財の公開カレンダー（平成23年10月～平成24年1月）

天候などにより日程が変更することもありますので、詳しくはさいたま市のWebページをご覧ください。見学無料。文化財保護課（☎829-1723）までお問合せください。

| 名 称                  | 日 時 ・ 場 所 ・ 内 容                                                                       |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 田島の獅子舞（市指定）          | 10月9日(日) 15時～ 田島氷川社（桜区田島4-12-1）<br>16時～ 四谷稲荷社（南区四谷）<br>3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。 |
| 南部領辻の獅子舞（市指定）        | 10月16日(日) 13時～ 鷲神社（緑区大字南部領辻2914）<br>別名「竜頭の舞」。三頭の獅子による勇壮な獅子舞です。                        |
| 岩槻の古式土俵入り〔釣上地区〕（国指定） | 10月16日(日) 13時～ 神明社（岩槻区大字釣上220）<br>男子の健康と成長を願い、子どもたちが土俵入りを奉納します。                       |
| 一山神社冬至祭（市指定）         | 12月22日(木) 14時～ 一山神社（中央区本町東4-10-14）<br>一年間の穢れを祓い、新年の無病息災を願う火渡りを行います。                   |
| 指扇の餅搗き踊り（市指定）        | 1月1日(祝) 0時～ 五味貝戸自治会館（西区指扇291）<br>万作踊りと餅搗き踊りを公開します。                                    |
| 日進餅つき踊り（市指定）         | 1月1日(祝) 0時～ 日進神社（北区日進町2-1194）<br>年明けの鐘とともに始まる餅つき踊りです。                                 |

さいたま市文化財時報

榎りぼーと

第42号

平成23年9月30日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課  
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号  
☎048-829-1723 ㊟048-829-1989  
<http://www.city.saitama.jp/>